

子どもたちの一番のサポーター P T A だより

令和元年度 第4号

今年度も折り返し地点を通過し、PTA 本部および各係の活動も順調に行われています。本号では、係の活動報告、学習支援ボランティアなどについてお知らせします。

PTA 本部 告知！土曜参観でエコ活

11月16日(土)の土曜参観日に、常時回収している以下のリサイクル品等を東門受付にて回収します。ぜひご協力をお願いいたします。

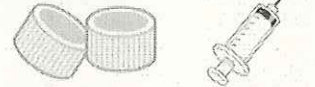
(雨天時は体育館棟の昇降口が受付になります)

- ・エコキャップ ・ベルマーク
- ・体操着などのリサイクル品
- ・テトラパック (テトラマークのあるもののみ)
- ・インク&トナーカートリッジ (回収できるカートリッジは純正のブラザー・キャノン・エプソンのみ)
衣類はご提供頂くだけでなく、欲しいサイズがあれば、ぜひお持ち帰りください。

環境係 エコキャップ運動 集計結果

9月24日(火)、環境委員会の児童と半年間集めたペットボトルのキャップを自然環境振興財団に引き渡しました。今年度は、101キロとなり、25人分のワクチンと栄養食を世界の子供たちに寄付することができました。また318.15キロのCO2削減に貢献できました。来年2月頃にも再度寄付を予定しておりますので引き続き皆さまのご協力をお願いいたします。

(回収できるキャップはペットボトルのキャップのみ)



PTA 本部 特別教室清掃&カーテンボランティア

10月10日(木)の運営委員会終了後、音楽室、図工室の清掃をクラス委員の皆さんと行いました。11月14日(木)の運営委員会の後には、理科室・児童会室の清掃をします。子ども達では手の届かない、照明器具や窓ガラスなどを重点的に清掃する予定です。また、特別教室のカーテンボランティアを募集し、多くの保護者の皆様にご協力いただきました。ありがとうございました。

保健係 給食体験会

10月16日(水)に給食体験会が開催されました。保護者61名に参加頂き、例年以上の大盛況でした。

栄養教諭佐藤典子先生のご講義は、とても楽しく興味深い内容でした。シチューやカレーに使うルー、また、だしやスープは全て手作りしていると伺いました。給食にこめられた、児童のための、きめ細やかな工夫や心遣いを知り、改めて、感謝の気持ちを覚えました。人気の「揚げパン」は納得の美味しさでした。給食室で揚げていることを初めて知りました。豚骨からとったスープで煮た「野菜のスープ煮」は温かく、やさしいお味で嬉しくなりました。

沢山のご参加、ありがとうございました。

おやじの会 水鉄砲大会&肝試し

9月7日(土)に毎年恒例の「水鉄砲大会」が開催されました。9月に入っても真夏のような日差しのもと、子どももおやじも先生もビシヨビシヨになりながら、過ぎゆく夏を楽しんでいました。

10月19日(土)に「肝試し」が開催されました。昨年より始まったこのイベント、今年は昨年を上回るなんと！240名の参加でした。

おやじの会のオリジナルの恐怖のストーリーを背景にアレンジされた夜の校内に、本格的な照明、音響の演出があり、ムード満点。低学年の子ども達は恐怖のあまりリタイア続出。中～高学年は大興奮！

イベントの日のために沢山の準備を重ねてきてくださった、おやじの会の方々、ありがとうございました。

おやじの会 ジャズフェスティバル & イベント係

11月2日(土)におやじの会とPTAイベント係主催のジャズフェスティバルが開催されました。

日吉台小学校に縁のあるプロのミュージシャンや、地元慶応大学のビッグバンドが出演する本格ライブでした。子ども達はアンサンブルの面白さや、即興演奏のワクワク感を体感、また大好きな「パプリカ」をバンドの演奏に合わせて踊りました。終了後には、お楽しみの楽器体験があり、楽器に触れて、音を出してみることができました。楽しい芸術の秋の一日となりました。

第5回運営委員会 9月13日(木) 10:00~11:00 (於:PTA会議室)

- ◆PTA 会長・校長・副校長挨拶 ◆校外委員会より
- ◆指名委員活動について
- ◆会計より前期交通費清算等の申請締め切りについて
- ◆各係からの報告 ◆係ごとの打ち合わせ

第6回運営委員会 10月10日(木) 11:30~12:30 (於:PTA会議室)

- ◆PTA 会長・校長・副校長挨拶
- ◆校外委員会より 交通安全教室について
- ◆各係からの報告 ◆係ごとの打ち合わせ ◆特別教室清掃

学習支援ボランティア

ご存知でしたか？ こんな支援をしています！

日吉台小学校では、昨年度より学習支援ボランティアを導入しています。日吉台小学校で学ぶ児童の日々の学習をサポートするこの学習支援ボランティアに、これまでに保護者をはじめ、地域の方など多くの方が参加・協力しています。実際に参加した保護者に、学習支援ボランティアの感想や必要性について聞きました。

支援 援



- 1年生プール支援に参加しました。初めてのプールにワクワク、ドキドキしている様子がとても可愛らしかったです。寒いと震えてしまっている子の体を拭くことをお手伝いしつつ、「自分でやるんだよ」と伝えますが、なかなか自分一人ではできません。プールの準備(忘れ物をしない)から、水着の片付けまで、一人では出来ない子がいるので、まずは各家庭での練習、確認をすると授業がよりスムーズになると思いました。一年生に「見ててね」なんて声かけてもらうと嬉しくなりました。2回目は練習してきた！と誇らしげに報告してくれる子も、「帽子の中に髪を入れる」「拭ける」「潜る」等、いろいろな技を披露してくれました。
- プールについては、全体的に沈んでいる、溺れているということがないか、またプールサイドを走る子を注意するなど、手分けして観察していたので、先生方も少しは安心でき、お役に立てたかなと思います。

- 1年生は秋を探しに日吉公園まで「まちたんけん」に出かけます。4名保護者のサポートがあり、途中歩道がない道路を通り急な坂を登る道のりですが、春よりは秋の方が列を守って上手に歩けました。公園内では1箇所しかないトイレを順番で使うよう見守りをしました。児童数が多いので、車が多い通りを細く長く連なって歩くのには、保護者のお手伝いがあると安心だなと思いました。
- 2年生のまち探検の付添いボランティアをしました。日吉駅周辺の商店街通り、道も狭く人や自転車、車の往来が多く大人数で移動は大変でした。引率の先生は1人で生徒は15人前後。商店街の中では小さな横断が沢山あり、その都度先生や私が交通当番の旗ふりのように、車を確認し子ども達を誘導しました。子ども達は時折脱線し、列の間に隙間を作っていましたが楽しんで探検をしていました。探検が無事に終わり、子ども達が私に「ありがとうございました」とお礼を言ってくれた時、とても嬉しく、ボランティアをして良かったなと思いました。また時間があればやってみたいと思います。
- 3年生社会科学習支援に参加しました。東急アベニューに行く際の横断時の支援でした。私自身も開店前のスーパーマーケットということで、とても楽しみにしていました。子どもたちと一緒に「ワクワクするねー」とお喋りしながら向かいました。店員の方々はお仕事しながらも関わらず、子どもたちの質問に丁寧に答えてくださり、「有難いなあ」と思いました。子どもたちも「ありがとうございます」とお礼を言っていました。狭い日吉駅前の歩道での横断支援では、クラス全員が横断歩道を一度には渡れません。赤信号でも前に続こうと走ろうとしたりする子もあり、大人の目の必要性を感じました。
- 4年生のまち探検に参加しました。「交通安全を学ぶ」がテーマでした。カーブミラーの位置やその見え方、子ども110番の家の確認などをしました。子どもたちは交通量の多い道路や信号のない横断歩道の危険性なども感じながら歩いていました。私もとても勉強になりました。
- 6年生の日吉台地下壕の見学の付添いをしました。9月の暑い日でしたが、入るとひんやりとし、足もとには水たまりや溝もあります。真っ暗ななか、各自持参した懐中電灯のあかりをもとに6年生たちは最後まで元気よく進んでいました。案内してくださる保存の会の方々が、要所で戦争当時のお話をしてくださいませ。この地下壕では6年生より少しだけ年上の少年兵が受信の仕事をしていたそうです。半日で8888歩の付添いは心身ともにハードでしたが、貴重な体験となりました。平和な日々が続くことを子どもたちと願いながら参加しました。

まち 外探 添学 習検



支援 ミシン

- 5・6年生の家庭科でミシンボランティアをしました。うまく縫えない児童がいたら、行って何が間違っているのかを確認をし、一緒に作業しました。ミシン以外にも、しつけぬいの仕方、たま止め、たま結びの仕方などなど、私でもサポートできることはたくさんありました。ミシンは1年に1度触るかどうかの私ですが、なんとかなりました。子どもたちと一緒に勉強できることは、とても新鮮で楽しく、貴重な経験です。

花ボラ・図書ボラ

日吉台小学校はこれらの学習支援ボランティアの他に、月に1~2回学校の花壇を整備したり、入学式や卒業式に華やかな寄せ植えを飾る花ボランティアと、月2回朝の読書タイムでの読み聞かせを行う図書ボランティアが活動しています。活動は、毎回参加できなくても、専門的な知識がなくても大丈夫。飼育栽培委員の子ども達と共同作業を行ったり、他の学年の保護者の方と交流できたり、楽しく活動しています。ご興味がある方は是非ご参加ください。

玉置恭美校長



昨年度から導入いたしました、学習支援ボランティア、今年度もたくさん保護者の方が登録してくださいました。そして、今年度より学校地域コーディネータの方々を中心となって、ボランティアをしてくださる保護者の方々と、学校との橋渡しをしてくださっています。

昨年度の反省を生かし、先を見通した支援要請を各学年から出す、車道の付近を歩行する校外学習では、余裕をもった人員配置をする、等の改善を加えました。プールでの急なトイレ、忘れ物、ゴーグルができない等、些細なことでしたが、ボランティアさんに助けていただき、無事に水泳学習も終わることができました。また、ミシンを用いた6年生家庭科のナップザックづくりでは、実際支援を行った保護者から「こんなに質問が出ては、先生一人では、対応しきれないですね。」という感想が。これからも保護者、地域の皆様、学校支援をよろしく願いいたします。